

『おおいしだめとんとむがすあつたけど』④6

《創作むがす》

さんこう
三公とガー太郎

織江 祐智作

《後編》

ある日三公あ考えだど。あねこに化けで酔っ払いばだましたて、人がらうらまれるばんだ。おやずの着物なのなんぼいっばいあつても着らんないす、ガー太郎ど交換すっだいや。魚売りにしてみんながかわいがらうだ方がいっばい。

ガー太郎もときどぎ思ていだど。三公はもどかがらね。お茶のめていうて水たまりの水のませで、お湯さ入れていうてどぶためさ入っで、それでおいしいものがお金までもうけるのはいいなや。

とうどう二匹は仕事を交代するごにしたり。今日からガー太郎が酔っ払いだます、三公は魚売りになつてすまたぞん。三公はねえちゃんに化けで魚売りの気になつたえ、小林のせぎこさはどんじょしかいねけど。しかたないがらどんじょいっばいへめで、売りにいっばいぞん。

「魚えらねがあ。活きのいい魚だ。」

「おやおや今日はねえちゃんが。ところで何あるや。」
のぞいてみると、どんじょばりニヨロニヨロとぶご(竹で編んだざる)さ入ったけど。



「ああ、どんじよなのえらね。おらいの田さいっばいいだ。」
といて、誰も買わねけど。一方、ガー太郎は桜畑で酔っ払いが通るのをじいっと待っていだけ。来なくて来なくてようやぐ日暮れる頃、歌いながら来るおやず一人見つけでさっそく声かげだけど。

「おっつあおっつあ、お茶のんでんがねが。湯さ入ってんがねが。」
「なに、やろこっこ。おればこばがえする気が。桜畑でだまさっだていう話聞ぐげんと、さてはお前が。このやろこっこ。」
て棒たがてただがれっごだけど。ガー太郎はほうほうの態で爆巻き逃げて帰ったけど。

やっばり他人の仕事をうらやますがつたりしてはだめだなて、二匹はよくよく分がて、ほれがらは交換するてやねけどは。

どんびん

○出典『大石田のんとむがす』

(大石田のんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

| 町の人口 令和8年6月1日現在 | | |
|-----------------|--------|--------|
| 世帯数 | 2,185戸 | (±0) |
| 総人口 | 5,676人 | (-5) |
| 男 | 2,832人 | (-5) |
| 女 | 2,844人 | (±0) |
| (5月中の異動) | | |
| 出生 | 0人 | 転入 13人 |
| 死亡 | 10人 | 転出 8人 |

※この人数は外国人も含めたものです。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設 LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

友だち登録をお願いします!

登録方法
右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。

大石田町公式LINE